

2022年12月26日

各 位

会 社 名 パ ン チ 工 業 株 式 会 社
住 所 東京都品川区南大井六丁目22番7号
代 表 者 名 代表取締役 社長執行役員 CEO 森久保 哲司
(コード番号: 6165 東証プライム)
問 合 わ せ 先 経営戦略室 広報IR課長 松田 隼人
TEL. 03-5753-3130

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2022年8月9日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 公 表 予 想 (A)	百万円 44,300	百万円 3,100	百万円 3,070	百万円 1,850	円 銭 82.57
今 回 修 正 予 想 (B)	43,100	2,350	2,300	1,130	48.66
増 減 額 (B - A)	△1,200	△750	△770	△720	
増 減 率 (%)	△2.7	△24.2	△25.1	△38.9	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	39,358	3,041	3,007	2,040	93.36

2. 業績予想修正の理由

第2四半期連結業績の公表時は、日本事業において10月に約1万アイテムの価格改定を実施した影響度合いが検証中であったこと、また上海ロックダウンが多業種に渡るお客様の生産ストップにつながり、結果的に当社の第3四半期以降の業績に影響が出つつあること、一部地域で回復の兆候も見られたこと等、多くの不確定要素を背景に、通期連結業績予想を据え置いておりました。

しかし足下の状況は、売上面では日本事業での自動車関連等の半導体不足を主要因として生産回復が遅れていること、中国事業では政府のゼロコロナ政策の緩和により、中国工場でのCOVID-19感染者数が大幅に増加しており、中国工場の稼働に大きな影響を及ぼしつつあることから、大幅な売上減少が見込まれております。

利益面では日本事業での価格改定による利益改善効果はあったものの、上記のCOVID-19感染者数の増加による中国工場の稼働への影響やお客様からの受注減少に加え、日本における協力工場からの仕入品の更なる値上げ要請や電力料金の高騰等もあり、前回公表予想に対しては未達となる見込みが高くなったことから、通期連結業績予想を修正いたします。

なお、期末配当予想については当社の財務状況等を総合的に勘案し、従来予想を据え置くことといたします。

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想の内容は、当社が本資料作成日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上